

CaruteFile によるカルテ・ファイリングシステム

医療制度の移り変わりにより、診療記録のデジタル化が避けられない流れとして定着して来ました。

しかしながら、デジタル化への移行には、多くの解決しなければならない問題を含んでいます。

数々あるソリューションの中で、CaruteFile は以下の問題について解決できる提案をしています。

1.カルテの PDF 化

医療における診療記録は大切な知的財産ですが、その大量のカルテを保管するための保管庫や人件費等の費用の制約を受けています。

診療記録の電子化は、この問題の解決に役立つものと考えられます。

しかしながら、電子カルテはまだ高価なことや、急を要する診療現場において、運用面で改善の余地があります。(現実的には、手書きによる運用が一部行われています。)

CaruteFile は、このような運用形態を考慮し、医療事務情報や手書きの情報をイメージの Pdf ファイルとして作成します。

PDF としてデジタル化されたカルテは、物理的な劣化がなく長期保存が可能になります。

又、PDF 化により、カルテ保管庫の問題も解消します。

2. カルテの照会

PDF 化したカルテを有効に利用するためには、必要に応じた照会に対応することが求められます。

CaruteFile は、患者番号による照会やキーワードによる照会をサポートしています。

この照会機能により、Pdf カルテをフォルダーから 容易に取り出すことができます。

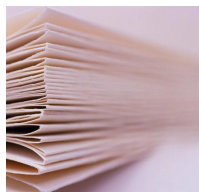
照会に使用されるキーワードは、医療事務システムからの情報も使用することができます。

I. CaruteFile の導入形態

1. カルテの永久保存

病歴管理室でのカルテ保管

- ① カルテを病歴管理室へ
- ② 5年経過カルテを抽出
- ③ スキャナで一括読み取り
- ④ キーワードを付けてPCで保管



カルテ



保管



スキャナ



PC

2. カルテの当日登録

当日患者の診療後の登録保管

- ① 各科にて、診療後のカルテを CaruteFile で登録
- ② カルテの追加登録
再来患者の追加分を既存のPDFファイルへ追加登録
- ③ 院内での参照
患者番号による照会
- ④ 病歴管理室でキーワード登録又は診療科でキーワード登録

3. カルテの診療時登録

診察時にダイレクトに登録

- ① 手書きカルテの卓上スキャナによる取り込み
- ② 画像の読み込み
- ③ 問診情報を直接画面から、画像情報として入力
PCの画面より図形登録で部位や家族歴、注釈へのコメント記入
- ④ 新規／追加による登録(キーワードも含む)
- ⑤ 患者番号による照会
- ⑥ キーワードによる検索

II. CaruteFileの主な機能

1. イメージの読み込み

① 表紙の印刷

医療事務システム等からの情報による表紙の作成ができます。

② コードの読み込み

QRコードによる患者番号の読み取りができます。

バーコード対応スキャナから患者番号の読み取りができます。

③ 各種の画像形式に対応

JpegやTiff等の画像やDicom画像やデータの読み取りができます。

2. 各種のデータベースに対応

FireBirdやMysqlやAccess等のデータベースに対応しています。

3. PDF

① ポリシーの付加

ポリシーによる暗号化保護や利用者制限, Acrobatポリシーサーバーによる認証保護等への保護機能の拡張が可能です。

② しおり／注釈の付加

作成するPDFへしおりや注釈をページ毎に作成することができます。

③ 画像への図形やコメントの追加

読み込みした画像に、直接図形を記述できます。

④ 追加登録

作成した患者のPDFへ追加して登録ができます。

⑤ カルテ頭書きができます。

医療事務システム等からの情報による自動取込みができます。

4. 照会

① キーワード

医療事務情報をキーワードに自動取り込みができます。

画面の医療情報をキーワードとして取込みができます。

② キーワード項目の設定

事前にキーワードの項目をカスタマイズができます。